

姫天だより

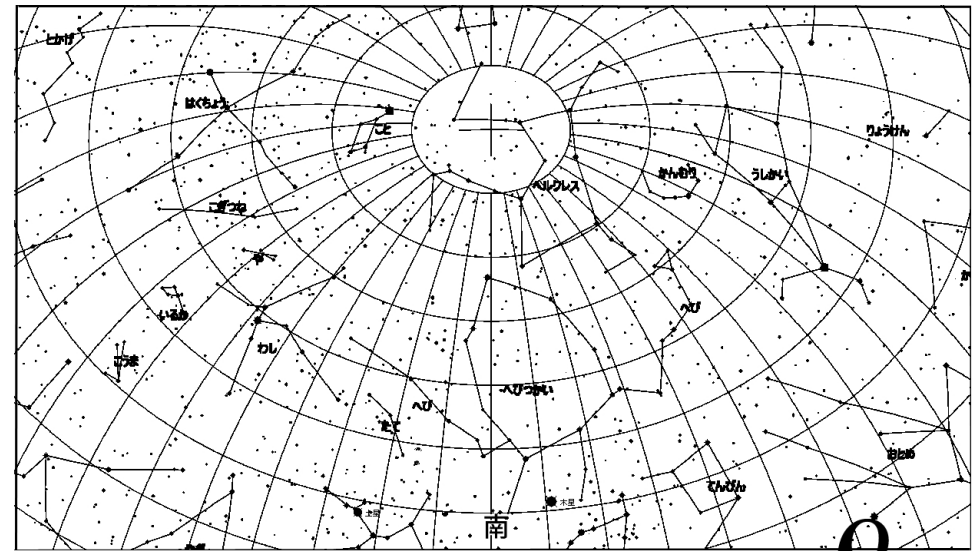
ヘルクレスの物語としては12の化け物退治が有名ですが、生まれたばかりの赤ん坊の時に、女神ヘラが差し向けた毒蛇を握りつぶしてしまったという逸話があります。また、この星座を探すのに使った織姫と彦星のあいだにはキューピッドの矢があると以前お話ししましたが、その矢についてもいろいろな説があり、ヘルクレスが12の仕事のひとつとしてステュムファロスの沼に住む、怪鳥を退治したときの矢であるというおはなしもこっています。

★今月のテーマ星祭り（七夕の星を見る会）

七夕？もう終わったんじゃないの、姫治天文台では毎年旧暦の七夕前にいちばん近い土曜日に七夕の星を観る会を行っています。今年は7日（水曜日）が旧暦の7月7日になります。皆さんも七夕の星を観ながら願い事を短冊に託してみませんか？

今年の夏休みは木星・土星が見ごろです。天の川をはさんで、木星表面の縞模様とガリレオ衛星、そして土星の美しい環をみなさんの目でみてみませんか？

まだ流れ星を見たことがないという方、最近人口流れ星を発生させる人工衛星の打ち上げが成功し、近々実験も行われるとのことですが、晴れていれば確実に見られる本物の流れ星、ペルセウス流星群の出現ピークを8月12日から13日の未明に迎える。今年は月明かりがありますが、月没後の短時間なら、天の川や木星・土星も見ながら夜空を流れる姿が見られるかもしれません。ちなみにピーク時間の予想は13日17時と言われいますので、翌日13日の夜から14日の未明もチャンスがあるかもしれません。



8月15日午後8時の南の空

8月号
2019

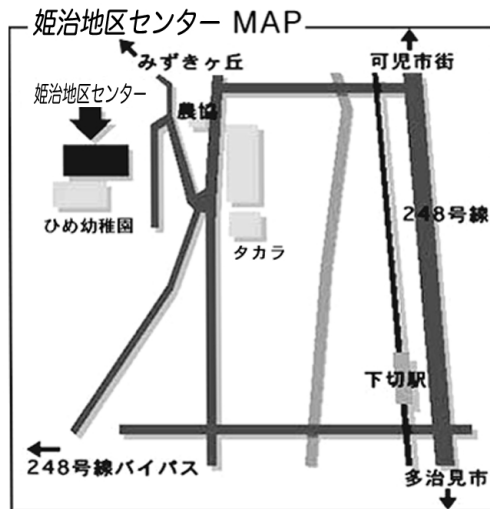
-次回の天文クラブ-

●夏の星まつり

8月3日(土)午後7時30分より
旧暦七夕の星空を見よう
夏の星座観察

●中秋の名月を見る会

9月7日(土)午後7時30分より
月の観察
夏の星座教室



JR太多線下切駅より徒歩13分

2019年8月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは
姫治地区センター (62-0104) まで

★今月の星座 ヘルクレス座

8月上旬に頭の真上に来るヘルクレス座、12の化け物退治で有名な英雄も目立った明るい星がなく全天で4番目に大きな星座で名前も知られているのに見つけられる人は意外と少ないのかもしれませんが。しかし夜空の暗いところでは手足の星まで探すことができ、右手にこん棒、左手にりんごの枝と2匹の蛇を持った姿を描くことができます。探し方は、夏の大三角形を使い、織姫星・彦星を軸にしてデネブを折り返しへびつかい座の頭の星を見つけたらその北に、少し歪んでいるがヘルクレスの胴体の星で頭文字のHを形どった星の並びを見つけるところから始まりです。3等星と4等星ですが頭の真上ですので意外と探すことができます。頭の星α星がつけられれば上半身が出来上がり手足の星も見つけやすくなります。また、蛇使いと頭を突き合わせるように並んでいるので逆さまの姿で描かれています。

α星は3.3等星で、ラス・アルゲティ（ひざまずくものの頭）の意味があり、干渉計によって実直径が観測された星として知られています。その直径は太陽の680倍もある赤色巨星で、またこの星は周期100日くらいで3等星から4等星の間で変光しています。更にこの星には口径5cmで見ることのできる5.4等星の黄色いお供の星と連星をなしているだけでなく、お供の星も分光連星なのでヘルクレスの頭の星は三重星になっています。またヘルクレス座には小望遠鏡で楽しめる球状星団が3つありますが、その1つM13は北天最大の球状星団で星の集まりであることを確認するには口径15cm以上が欲しいところです。

姫治地区センター
岐阜県可児市下切 1530
☎0574-62-0104
姫治天文台
<http://himeziten.yu-yake.com/>